

授業科目名	データサイエンス・AI 入門	大学名	帝京大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期
学部・学科等	担当教員の学部・学科等を記入	曜日	オンライン(対面授業の実施日については、未定)
必修・選択区分	各大学等で決定される	時限(時間)	オンライン(対面授業の実施日については、未定)
標準対象年次	全学年	授業形態	オンライン(一部、対面で実施)
単位数	2単位	授業会場	オンライン(対面授業の実施場所については、未定)
担当教員名	津村 健太		
電話番号(代表者名)	028-627-7120	e-mail アドレス	kyomu@riko.teikyo-u.ac.jp>
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 知識基盤社会においては、情報技術の進展に伴い、社会から得られる膨大なデータの利活用は、今後の情報社会の根幹をなすものです。そのためのデータサイエンス・AI に関する基礎的な知識とスキルは、学生が、今後の社会で活躍するために必要となる基礎的な素養です。</p> <p>この科目では、データサイエンス・AI が、社会生活と専門分野の中でどのように活用され、新しい価値を生んでいるのかについて理解できるようにします。また、データサイエンス・AI の基本的な技術や、それを活用する場合の留意事項、さらに、データリテラシーの基本についても学びます。</p> <p><前提とする知識・経験> 特に必要としません。</p> <p><授業の具体的な進め方> 15回のうち13回は、Web上のコンテンツを各自で学修する「非同期オンライン授業」を行います。残りの2回(第8回と第15回)は対面授業とします。対面授業の実施日時・場所は、後日、連絡します。</p> <p><授業計画> 第1回 ガイダンスとイントロダクション 第2回 データ・AI の活用領域、利活用の現場 第3回 社会で活用されているデータ 第4回 データ・AI 利活用のための技術 第5回 データ・AI の最新動向と専門領域への適用事例 第6回 データ・AI を扱う上での留意事項 第7回 データを守る上での留意事項 第8回 総合演習1(対面授業・グループワーク) 第9回 データの種類 第10回 データの分布と代表値 第11回 データのばらつきと誤差 第12回 データ収集の方法 第13回 相関と因果 第14回 データの可視化 第15回 総合演習2(対面授業)</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書は用いません</p> <p><成績評価法> ①各授業で課されるテスト(50%) ②対面授業におけるレポート課題(2回分)(50%)</p> <p><教員からのメッセージ> 数学や統計学などになじみのない人に向けた、基礎的な内容を取り扱います。</p>		